


にこにこ通心

平成29年1月

vol. 76

勝裕章 



初詣の
おみくじ
3年連続
大吉だった

物をなくしてしまうのは...

僕は昔から、よく物を忘れてきたり、なくしてしまったりします。

子供の頃は、スキー場にスキー靴を忘れてきたり、テニスの試合から自転車で帰ってきたら靴が片方なくなっていたり... 大人になってからもいろいろと... アレどこにしまったかな〜? その都度反省し、気をつけてみるものの、また同じことが起こる。ある意味これも自分の個性だ、などと開き直って生きてきた部分もありました(笑)

ところが、最近衝撃的な記事を読みました。要約するとこんな感じです。

物をなくしたり、失ったりするのは日常生活の心の持ち方に原因あり。それは、後始末の悪さであり、けじめがない、あいまいな生き方... 要は最後のつめが甘い。また、物をなくしたり落したりする人は、感謝の思いが薄い人が多い。それは、物に対してだけでなく、自分を取りまく多くの人に対しても同じ。

ここを一步踏みこんで考えると、なくした物をして自己嫌悪に陥り、自分を責めている人は、ある面では親不孝なのかもしれない。自分を生み育ててくれた両親に対して、子として感謝しているが、親に必要以上に苦勞や心配をかけてこながったか。自分ひとりで頑張ってきた、などと錯覚をしているがたか?

ショックでした。そんなつもりは全くなかったけど... 無意識的にこういう面もあるのかもしれない。

その記事の最後は、気がういたら今から改めればよいだけ。後始末を通しておおいに自分を磨いていってください、と結ばれていました。42才の今、この記事を読めたことに心から感謝です。ありがとうございます。

使命感を お伝えさせていただいたのは...

昨年、にこにこ通心で「私が保険屋さんになった理由」を書きました。みなさまにお伝えさせていただくことで、自分の中で初心に立ち返り、再確認することができました。ということで、別紙にもうひとつだけ書かせていただきました。

「僕が相続診断士の資格も取得した理由」です。

お時間の許す時にお読みいただけると嬉しいです。

今年はこの余白のように
心にゆとりと遊びを

持って過ごしたいものです (๑)

The trial version converts only 1 page. Evaluation only.

Converted by First PDF.

(Licensed version doesn't display this notice and converts the whole PDF document!)

[Click to get the license for First PDF.](#)